

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	丹波漆等伝統文化活用・支援事業										事業コード	020108230288			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	76	頁
計画期間	開始年度	平成29年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	文化財保護法、漆掻き職人移住支援補助金交付要綱、丹波漆苗木購入費等補助金交付要綱、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市の伝統文化の保存・継承を行う団体の支援を行うとともに、普及啓発活動を団体と協働で実施し、本市の誇る伝統文化のPRを行う。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者		対象者数	77,500	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,359		1,732		1,672		0					
	② 補正予算	0		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		2,359		1,732		1,672		0					
予算財源内訳	① 一般財源	927		614		0		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	1,432		1,118		1,672		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 149		0									
	② 配当予算	2,210		1,732									
	③ 執行額	1,458		965									
	④ 執行率	66.0%		55.7%									
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.23	/	0.00	0.04	/	0.05	/					
	② 概算人件費	1,840		460									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,298		1,425									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	丹波漆等伝統文化活用・支援事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		種類	総務費府補助金		719		決算附属資料	22	頁	
			丹波漆等伝統文化活用・支援事業(きょうと地域連携交付金)			総務費府補助金		実績金額			115		22

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	漆生産量	g	2299	/	3600	2900	/	3600	2002	/	5000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	漆植栽	本	62	/	100	164	/	100	90	/	220
		単位あたりコスト	24.2		8.9		10.7				
	後継者の育成	人	1	/	1	1	/	1	1	/	1
		単位あたりコスト	1500.0		1458.0		965.0				

丹波漆等伝統文化活用³支援事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■丹後和紙は本市の伝統工芸品であり、その製作技術の継承は、文化の保存の観点から重要である。丹後和紙の製作を行う事業者の後継者育成を支援するため、伝統的工芸品等後継者育成事業補助金を交付した。 ■丹波の漆掻きは本市の伝統的な技術であり、その技術の継承は、文化の保存の観点から重要である。漆掻き技術継承者に対し、福知山市漆かき職人移住支援補助金を交付した。 ■かつて本市にて盛んに行われた藍の栽培及び藍染めの技術の保存及び継承は、文化の保存の観点から重要である。藍の栽培及び藍染めを行う団体の後継者発掘事業を支援するため、伝統的後継者育成事業補助金を交付した。 ■丹波漆のPR活動として、福知山市内及び京都市内での物販イベントにてブース出展を実施した。また京都市内での伝統工芸展示会に参加した。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■丹波漆、丹後和紙、由良川藍の保存、継承に取り組む団体の活動の活性化のため、補助金の交付等により最小限の支援を行っている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■漆生産量減産回避措置のため、漆の苗木を保護するネットを設置した。 ■福知山市内、京都市市内の店舗やショッピングサイトにおいて漆製品の委託販売を実施した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■伝統文化の保存、継承に取り組む団体に対して、補助金交付等により継続的に支援を行っている。 ■漆の植栽支援を行っているが、丹波漆の生産量は増加していない。植栽から漆が掻けるようになるまで約10年かかること及び漆生産の担い手が少ないことが原因となっている。丹波漆の生産を安定化し、担い手の経済的な安定性を確保するためには植栽支援の他にも継続的な支援が必要である。 ■福知山市内や京都市内において漆製品の展示を行い、委託販売を行うことで、丹波漆の情報を発信している。一方で、丹波漆の生産量が少ないため、漆製品に少量しか使用できないことが課題となっている。		
改 善 策	■丹波漆振興プランを策定し、丹波漆振興の今後の方向性を定める。 ■丹波漆の保存、継承を行う団体が進める漆の植栽、植栽場の管理を支援するとともに、植栽場の管理方法について団体とともに検討する。 ■漆製品を小ロットで販売できる店舗との委託販売を継続し、福知山市内外の展示会へ出展することにより、丹波漆の情報発信を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)	☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	福知山城天守閣管理運営事業										事業コード	020108650303				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	79	頁	
計画期間	開始年度	昭和61年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山城天守閣条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の歴史資料、民俗資料、考古資料等の保存・収集及び歴史と文化的な特徴を展示し、市民や本市来訪者へ普及啓発を図り、生涯学習活動の推進と市民文化の発展に寄与する。					
	福知山城の歴史や特色を紹介し、福知山に対する愛着と理解を深める。 本市の歴史的シンボル、市民の心の拠り所である「福知山城」天守閣建物の適正な管理・運営を行う。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	16,728		9,090		8,995		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		16,728		9,090		8,995		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	4,000		0		0		0						
	⑤ その他特財	12,728		9,090		8,995		0						
決算情報	① 流充用額	△ 754		△ 1,083										
	② 配当予算	15,974		8,007										
	③ 執行額	14,060		8,001										
	④ 執行率	88.0%		99.9%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.41	/	2.96	0.16	/	5.16	/						
	② 概算人件費	11,568		15,728										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		25,628		23,729										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山城天守閣入館料等		種類	総務使用料		実績金額	5,666		7	頁		
			御城印			物品売払収入			2,335				決算附属資料	33

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入館者数	人	39134	/	60000	50876	/	50000	59438	/	60000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	開館日数	日	223	/	305	249	/	365	308	/	308
		単位あたりコスト	43.4		56.5		26.0				
			/		3		/		福知山城天守閣管理運営事業		
		単位あたりコスト									

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○本市の歴史を紹介する文化的価値の高い施設であり、福知山市の象徴・観光スポットとしても重要な本施設を維持することは必要性がある。 ○入館者が快適に利用できるよう設備点検や清掃・受付業務などを行い、施設を維持管理している。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○前年度実績を基に、職員配置や委託業務を最低限の範囲で行うなど、効率的・効果的に運営している。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○施設運営にあたっては新型コロナウイルス感染対策を適切に実施している。 ○来館者増加を目指し、竜王戦や京都府アートプロジェクト、関西文化の日等、公共・民間の事業に協力している。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	○新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、来館者数がコロナ禍前の水準以上に回復した。 ○再建から30年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっている。 ○コロナ禍等により開催できていなかった企画展を実施するため計画検討する。		
改 善 策	○来館者数維持・増加のため、一時の話題性のみでなく、施設の特色を活かした企画運営及び周知活動の実施を検討する。 ○施設内での企画展実施方法について検討する。 ○施設改修については、高優先度の箇所から実施する一方で、長期的展望及び施設運営面を含めて検討する必要がある。 ○案内看板や柵が破損しているところもあり、順次修復していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	丹波生活衣館管理運営事業										事業コード	020108650309				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち							政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承										施策コード	431			
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課							所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80	頁	
計画期間	開始年度	平成13年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市丹波生活衣館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	丹波生活衣館の歴史と特色を紹介し、織物体験や製作物の物品販売を通じて、来館者に地域の伝統文化を継承し、学びを提供していく。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,264		4,019		4,157		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		5,264		4,019		4,157		0				
予算財源内訳	① 一般財源	4,666		3,403		3,543		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	598		616		614		0				
決算情報	① 流充用額	1,533		△ 23								
	② 配当予算	6,797		3,996								
	③ 執行額	6,668		3,904								
	④ 執行率	98.1%		97.7%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.30	/	2.02	0.11	/	5.32	/				
	② 概算人件費	8,056		15,776								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		14,724		19,680								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	丹波生活衣館使用料		種類	総務使用料		実績金額	157	決算附属資料	7	頁
			丹波生活衣館加工品等			物品売払収入			247		33	
			丹波生活衣館講座材料費			雑入			104		48	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入館者数	人	3626	/ 10000	4297	/ 10000	6331	/ 10000	/ 10000	10000	
	施設貸し室件数	件	85	/ 100	90	/ 100	85	/ 100	/ 100	100	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	展示会・講座・教室の回数	件	20	/ 25	21	/ 25	24	/ 25	/ 25	25	
	単位あたりコスト		281.2		317.5		162.7				
	単位あたりコスト		/		5 /		/		/ 丹波生活衣館管理運営事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○地域に伝わる丹波生活衣は市重要文化資料の指定を受けており、後世に残していくことは重要である。 ○明治から昭和初期の収蔵品の展示や織物体験などの体験教室などを行い、地域に伝わる生活衣の文化の継承に寄与している。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○効率的な運営を図るため、施設職員と丹波生活衣同好会が協力して企画展等を企画、運営している。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○伝統文化を有効的に伝えるだけでなく、施設利用者を増加させるために手作り講習会や藍染講習会などの企画展や講習会を行っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○地域に伝わる文化資料を収集し適正に保存し展示することで後世に伝えていくという役割を果たしている。 ○寄贈物のデータ整理が追いついていないため、今後随時整理していく必要がある。 ○どのような人がどのような目的で利用しているか判断するためのデータがなく、今後の目標の方向性が不明確な点が課題である。 ○施設の老朽化やどのような施設かが分かりづらいという声がある。		
改 善 策	○体験コーナーとデータ整理をバランスよくおこない、収蔵物のデータ管理を適正に行う。 ○来館者にアンケートを取るなどし、今後の方向性について検討していく。 ○施設をイメージし易く、観光客が入りやすい看板設置等を行う。 ○丹波生活衣館単館だけでなく、近隣の文化施設等と連携した事業展開を行うことで、効率性や有効性を高める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	治水記念館管理運営事業								事業コード	020108650311					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承							施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上 郷太郎							
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80	頁
計画期間	開始年度	平成17年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市治水記念館条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市と治水や水害に関わる歴史に関する展示を実際に水害に見舞われてきた町屋を用いて行い、治水の歴史を地域に根差して後世に伝えていく。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予 算 情 報	① 当初予算	3,544		1,825		2,038		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		3,544		1,825		2,038		0						
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	3,544		1,825		2,038		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決 算 情 報	① 流充用額	△ 53		130										
	② 配当予算	3,491		1,955										
	③ 執行額	3,490		1,954										
	④ 執行率	100.0%		99.9%										
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.29	/	0.00	0.11	/	0.50	/						
	② 概算人件費	2,320		2,280										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,810		4,234										
主 な 利 用 特 財 (N－1年度実績値)		特財名称			種 類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入館者数	人	1603	/	3300	2457	/	3300	2056	/	3300
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	開館日数	日	202	/	305	256	/	305	258	/	305
		単位あたりコスト	15.8		16.4		7.6				
	延べ語り部活動従事者数	人	179	/	1000	278	/	1000	279	/	1000
		単位あたりコスト	17.8		12.6		7.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○福知山は歴史的に水害の多い地域であり、由良川の水害、治水に関する歴史的資料を後世に残していくことは重要である。 これらを伝え、多くの人に普及していくために常設展に加え防災グッズ店などの企画展を開催し、来館者増に努めている。 ○明治初期に建てられた福知山の典型的な町家建物であり、歴史的建造物として保存活用することは必要不可欠である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○語り部である柳菱クラブ会員に案内業務を委託し、来客が多く見込まれる日に勤務いただくことで水害の歴史を伝えていくことができている。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○歴史的建造物である町屋建物を、治水防災の歴史と文化を紹介するだけでなく、五月人形展などの企画展にも有効活用し、入館者増に向けて取り組んでいる。 ○企画展も近隣の方や、市の所有物をを無料で借用したりするなど、出来る限りコストをかけずに、町屋と防災についての啓発に取り組んでいる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	○治水と水害の歴史を体験と合わせて学べる施設として貴重な役割を果たしている。 ○入館者数が目標を達成できておらず、近年語り部の高齢化による減少で、これまでのように体験談を来館者に伝えることが難しくなっている点が課題となっている。		
改 善 策	○治水記念館をより広く認知してもらうために、企画展などの広報を積極的に行い来館者を呼び込む。 ○R5年度において、語り部の体験談をデジタルデータで保存したので、今後來館者に視聴してもらい活用していく。 ○治水記念館単館だけではなく、近隣の文化施設等と連携した事業展開を行うことで、効率性や有効性を高める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)	☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	芦田均記念館管理運営事業										事業コード	020108650316			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上 郷太郎						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	08 文化振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	80・81	頁
計画期間	開始年度	平成14年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市芦田均記念館条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	福知山市市内唯一の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相に関する資料を保存及び活用することで、地域文化の向上に寄与する。					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☒ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	3,911		3,911		4,197		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		3,911		3,911		4,197		0				
予算財源内訳	① 一般財源	3,856		3,856		4,142		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	55		55		55		0				
決算情報	① 流充用額	23		△ 269								
	② 配当予算	3,934		3,642								
	③ 執行額	3,929		3,606								
	④ 執行率	99.9%		99.0%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.21	/	0.00	0.26	/	0.10	/				
	② 概算人件費	1,680		2,360								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		5,609		5,966								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	芦田均記念館使用料		種類	総務使用料		実績金額	19	決算附属資料	7	頁
			電柱占用料(芦田均記念館)			総務使用料			2		7	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入館者数	人	1496	/	3500	2377	/	3500	3395	/	3500
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	開館日数	日	239	/	310	254	/	310	307	/	310
		単位あたりコスト	16.3		15.5		11.7				
	イベント開催回数	回	1	/	5	96	/	5	7	/	10
		単位あたりコスト	3905.0		654.8		515.1				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	■福知山市市内唯一の総理大臣経験者であり、福知山市名誉市民である芦田均元首相の事跡を紹介し、顕彰するため、資料等の管理及び展示を実施した。 ■地域住民の文化活動の場を設けるため、多目的ホールや和室の貸室を行い、囲碁教室や研究会に利用された。 ■芦田均元首相のピアノ(均っさんピアノ)を活用し、ストリートピアノなどを行った。 ■公立大生からアドバイスを受けSNSでの広報を強化した。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	■施設の効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入し、地元住民を中心とする組織である芦田均元首相顕彰会に施設の管理、施設利用受付、清掃等を委託した。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	■入館者数増加の目標に向けて、指定管理者による自主事業を計画し、文化講演会・囲碁大会等の事業を行った。正月三が日に自主的に臨時開館し書初め大会が開催された。 ■自主事業として地域住民による「みんなの作品展」を開催した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	■指定管理者による、著名な有識者を招いての講演会が記念館事業のメイン事業となっており、他にも地元住民による作品展を開催するなど、多様なテーマの自主事業を実施している。一方で、芦田均元首相を顕彰する施設としての特色のある自主事業が少ない。 ■帰郷者が多く訪れる正月三が日に自主的に臨時開館するなど、指定管理者による積極的な施設運営が行われている。 ■施設内の芦田均生家が老朽化している。 ■SNSを活用した広報が特定の人物に限られているため情報が少なく、顕彰会の会員に積極的に情報発信してもらう必要がある。		
改 善 策	■芦田均元首相に関する資料の紹介、発信方法等を指定管理者とともに検討する。 ■指定管理者の地縁的特性を活用し、現在の指定管理者独自の自主事業の実施を検討する。 ■施設の運営について、指定管理者制度の見直し等も含めて検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

| 事業属性

| 事業属性

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

区分

成固守續

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	現地調査	件	/ -	/ -	1 / 1	/ -	1
	調査報告書作成	件	/	/	/	/ 1	1
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	調査割合	%	/ -	/ -	75 / 100	/ 100	100
		単位あたりコスト			288.5		
			/	11 /	11 / 11	11 / 11	11 / 11

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	福知山市の歴史を示す埋蔵文化財が民間開発により消滅することから、記録保存を行い後世に伝え残すことは適切であり、開発事業の工程より優先度は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事業の実施上必要に応じて、見積徴収によりコスト比較を行いコスト削減を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	調査箇所とその内容の把握を常に行うとともに、調査達成のため現地の地形を十分把握したうえで調査ポイント設定し、調査に取り組んだ。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	現地における調査により、古墳4基を確認した。うち2基の古墳の埋葬施設から鉄製品・玉類・土器などの出土遺物があり古墳群が古墳時代後期に作られたことが判明し、地域の歴史への解明につながった。今後の課題は、同古墳群の歴史的意義を考察していくことである。		
改 善 策	出土遺物の整理を行うとともに、現地調査での成果を踏まえ、同古墳群の歴史的意義を考察した調査報告書を作成する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	歴史公文書等調査整理研究事業										事業コード	100501202303			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	222	頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	—														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	歴史的公文書ほか市内歴史資料の調査・整理・研究を行う				
対象者	歴史資料	対象者数	3,000	単位あたりコスト	1.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0		1,270		1,770		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		0		1,270		1,770		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		1,270		1,770		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	0		1,270										
	③ 執行額	0		1,032										
	④ 執行率	0.0%		81.3%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00	/	0.00	0.22	/	0.05	/						
	② 概算人件費	0		1,900										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		2,932										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	展示回数	回	/ -	/ -	2 / 2	/ 2	2
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	調査点数	件	/ -	/ -	1500 / 1000	/ 1500	1500
	単位あたりコスト				0.7		
	単位あたりコスト		/	13 /	/	歴史公文書等調査整理研究事業	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	福知山市の歴史を記す歴史的公文書は貴重な資料であり、今後、この資料を保存活用することは社会のニーズを的確に捉えた事業である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	多人数の福知山公立大学の学生の協力が得られるとともに、文書整理のノウハウを持った担当教員の指導により効率的な調査につながっている。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	調査した資料の展示公開により市民が福知山市の歴史を学ぶ機会につながり有効と判断できる。今後は保管・活用をどのように対応していくかが課題となる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	目録の作成及び内容の把握は、福知山市の新たな歴史が把握できるとともに、調べた資料の展示・講座の開催は市民が福知山市の歴史に目を向けていただく効果があった。課題となる歴史公文書の取り扱いについては福知山公立大学との共同研究において解決していきたい。		
改 善 策	引き続き歴史公文書と市内歴史資料の目録作成を行うとともに、文化庁が掲げる「文化財保存活用地域計画」への着手につなげていきたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	文化財保全事業							事業コード	100501640103					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	227	頁
計画期間	開始年度	平成4年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R6現在の状況		継続中
根拠法令等	福知山市文化財保全補助金交付要綱													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	国・府・市指定文化財の保全・保護を図り、後世に貴重な文化財を継承するとともに学びを深める。				
対象者	国・府・市指定文化財	対象者数	278	単位あたりコスト	16.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,800		1,800		1,800		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,800		1,800		1,800		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,800		1,800		1,800		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	0		0										
	② 配当予算	1,800		1,800										
	③ 執行額	1,727		1,800										
	④ 執行率	95.9%		100.0%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.58	/	0.20	0.23	/	0.30	/						
	② 概算人件費	5,200		2,680										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		6,927		4,480										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称			種類			実績金額			決算附属資料			頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	維持管理・修繕未解決事項	件	0	/	0	0	/	0	/	0	0
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	維持管理・修繕実施件数	件	10	/	9	13	/	11	12	/	13
	単位あたりコスト		151.5		132.8		150.0				
	単位あたりコスト		/		15		/		/		文化財保全事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・文化財の保護保全のため所有者が管理を行う自動火災報知設備などの維持管理や文化財の修繕に対して補助を行った。社会的ニーズは高い。 ・文化財の保護・保存が図れるとともに、後世に継承できるため優先度は高い。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・所有者負担は全事業費の1/4以上であり妥当な割合である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・文化財所有者からの維持管理及び修理に関する相談に対して助言を行った。 ・事前相談などで次年度以降の見込みを成果目標数値としていることから、成果目標は理にかなっている。また実績は実績報告書に基づき把握している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・貴重な文化財を保全・保護・継承することは地域資源及び地域を学ぶ資料として次世代への投資にもなっており、補助事業としては有効である。 ・達成状況については、年度ごとに増減があるため件数を定性的な評価対象とすることは難しい。 ・限られた予算内ですべて対応することは難しい。		
改 善 策	・補助事業の実施により、貴重な文化財を保護し未来へと伝えることができる。今後も継続して実施していく。 ・限られた予算で対応するため、民間財団等による助成金等の活用も積極的に取り入れていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	夜久野町化石・郷土資料館運営事業							事業コード	100501640105						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち				政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展								
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承					施策コード	431							
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課				所属長	井上郷太郎								
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計	決算附属資料	227・228	頁	
計画期間	開始年度	昭和53年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市夜久野町化石・郷土資料館条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・市民共有の財産である文化財の適切な保管と収集 ・文化財保護・愛護のための普及啓発活動 ・地域学習のための生涯学習資料の提示				
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者	対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	815		370		370		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		815		370		370		0						
予算財源内訳	① 一般財源	769		324		324		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	46		46		46		0						
決算情報	① 流充用額	20		0										
	② 配当予算	835		370										
	③ 執行額	822		305										
	④ 執行率	98.4%		82.4%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.15 / 0.15		0.17 / 1.20		/		/						
	② 概算人件費	1,620		4,720										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		2,442		5,025										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	夜久野町化石・郷土資料館使用料		種類	教育使用料		実績金額	14		10	頁		
			電柱占用料(夜久野町化石・郷土資料館)			教育使用料			2				決算附属資料	10

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入館者数	人	122	/	500	184	/	500	265	/	200
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	体験学習と企画展示	件	0	/	1	1	/	1	1	/	1
	単位あたりコスト		0.0		822.0		305.0				
	単位あたりコスト		/		17		/		夜久野町化石・郷土資料館運営事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	近隣にはこれだけ数多くの化石の展示を行っている類似施設はないためニーズは高く、施設の適切な管理運営を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	運営の効率化と光熱水費の削減を図るため来館者が多い、土、日、祝日のみの開館とした。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	外部活用として京都府立大学と協働し、館内資料の再整理を行うとともに資料の再評価を行い、今後の展示方法を検討した。また、8月に体験講座として「化石レプリカ作り」を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	化石という地域資源を活かした施設としては特徴的である。京都府立大学と連携して行った館内資料の整理はほぼ終了し、資料の新たな価値付けができたとともに展示替えを行うことができ、新たな資料の情報発信ができた。今後は課題である入館者増を図りたい。		
改 善 策	新たな展示のPRのほか、地域の資料館として調査成果について小中学校や地域へ情報提供を行っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	日本の鬼の交流博物館運営事業										事業コード	100501640106				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展							
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上郷太郎							
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	228		頁
計画期間	開始年度	平成5年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	福知山市日本の鬼の交流博物館条例															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・世界の鬼にかかわる資料の収集と保存と公開、情報発信 ・大江山に関する資料の収集と保存と公開、情報発信 ・有形、無形民俗文化財資料の収集と保存と公開					
対象者	市民、入館者、観光入込客数(全国を対象)、施設利用者		対象者数	1,000,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	5,998		31,116		5,810		0					
	② 補正予算	0		△ 4,700		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		5,998		26,416		5,810		0					
予算財源内訳	① 一般財源	3,202		4,426		2,914		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		18,100		0		0					
	⑤ その他特財	2,796		3,890		2,896		0					
決算情報	① 流充用額	1,598		0									
	② 配当予算	7,596		26,416									
	③ 執行額	7,590		24,017									
	④ 執行率	99.9%		90.9%									
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.40 / 3.20		0.17 / 3.05		/		/					
	② 概算人件費	12,160		9,900									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		19,750		33,917									
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	日本の鬼の交流博物館使用料		種類	教育使用料		2,510		決算附属資料	10		頁
			日本の鬼の交流博物館運営事業基金繰入(地域振興施設維持補修基金)			基金繰入金		169			38		
			日本の鬼の交流博物館運営事業(過疎対策)			教育債		17,300			56		

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入館者数	人	7535 / 10000		10722 / 10000		10158 / 10000		/ 10000		10000
	取材等に伴うマスメディア登場回数	回	34 / 25		33 / 25		29 / 25		/ 25		25
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	特別(企画)展の回数	回	5 / 3		4 / 3		3 / 3		/ 3		3
	単位あたりコスト		1134.6		1897.5		8005.7				
	単位あたりコスト		/		19 /		/		日本の鬼の交流博物館運営事業		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・鬼をテーマとしたまちづくりの拠点であり、鬼文化のPRとして特別展を開催するとともに、全国からの鬼に関する問い合わせに対しレファレンスを行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・入館に際しては入館料を徴収しており、受益者負担は妥当である。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・特別展の回数は目標値をクリアしている。特別展を開催して新たな鬼に関する情報を来館者に提供することは、来館者が鬼への関心をより高めることができるとともに満足度向上に有効である。 ・日本中の鬼に関する資料を収集するとともに、情報発信を行っている	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・福知山市の地域資産である鬼をテーマにした全国的にも珍しい施設である。鬼文化の資料収集を積極的に行うことにより、冊子等の取材、資料の提供に関する問い合わせも多く、福知山市の文化施設としてPR効果は大きい。 ・マスメディア登場回数も目標値を上回っている。 ・入館者のニーズの把握を続けることが課題である。		
改 善 策	・入館者よりニーズを聞き出したり、鬼ブームなどの社会的現象の把握に努める必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	文化財整理事業										事業コード	100501640107				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち							政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承										施策コード	431			
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課							所属長	井上郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	228	頁	
計画期間	開始年度	平成元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	・福知山の歴史を物語る新たな収集資料の整理作業を行うとともに、資料の適切な保管のため埋蔵文化財収蔵庫(天津)、文化財収蔵庫(三和・夜久野)の維持管理を行う。				
対象者	文化財資料	対象者数	100,000	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,805		1,618		1,620		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,805		1,618		1,620		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,805		1,612		1,614		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		6		6		0						
決算情報	① 流充用額	154		0										
	② 配当予算	1,959		1,618										
	③ 執行額	1,951		1,534										
	④ 執行率	99.6%		94.8%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.35	/	0.05	0.17	/	0.45	/						
	② 概算人件費	2,940		2,620										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		4,891		4,154										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	廃校電柱類設置貸付収入(文化・スポーツ振興課)		種類	財産貸付収入		実績金額	6		決算附属資料	32		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	資料の保管状況	—	異常なし	/	異常なし	異常なし	/	異常なし	異常なし	/	異常なし
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	ミニ企画展	回	2	/	2	2	/	2	2	/	2
	単位あたりコスト		429.5		975.5		767.0				
	資料整理点数	点	0	/	0	210	/	100	650	/	500
	単位あたりコスト		0.0		17.7		2.4				文化財整理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・文化財資料は地域資産である。この地域資産の保管は市民の財産であり、それを保管する施設の適切な管理を行った。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・受益者との負担関係、単位あたりコストを明確にするのは難しい。 ・移転した資料の集約化により資料管理と資料整理の効率化につながった。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・資料の保管は文化財保護の基本であり成果目標は適切である。 ・目標値どおり図書館中央館において考古資料のミニ企画展(2回)を開催した。	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	文化財資料の整理作業及び文化財資料を保管する施設の維持管理は後世に貴重な文化財を伝え残すのに不可欠なものである。また、資料の劣化、散逸を防ぎ後世に伝えるためにも有効である。 収蔵施設の老朽化が課題である。		
改 善 策	収蔵施設の長寿命化のため修繕が必要となれば適切に修繕を実施していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

(単位：千円)

| 事業属性

事業名	文化財資料移転事業										事業コード	100501640123				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展								
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431					
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課					所属長	井上郷太郎								
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	228		頁
計画期間	開始年度	令和4年度		終了予定年度	令和6年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	—															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市内8か所の施設に保管していた収蔵資料を2か所の適切な収蔵施設へ移転するとともに、地域文化の継承のため収蔵資料の適切な保管と整理を行う。また、老朽化した収蔵施設の解体撤去を進める。				
対象者	文化財資料	対象者数	21,000	単位あたりコスト	0.3
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()				
委託先・実施主体等	岡山県貨物運送(株)、(株)伊藤・梅原建築設計事務所				
事業概要 (簡条書き)	・上天津埋蔵文化財収蔵庫内資料の移転 ・上天津埋蔵文化財収蔵庫の解体撤去設計 ・移転資料の整理、分類				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容		
	需用費	124	消耗品費		
	委託料	4,096	設計委託、資料運搬委託		

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予 算 情 報	① 当初予算	11,129		4,450		42,150		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		11,129		4,450		42,150		0				
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	11,129		1,550		150		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		2,900		31,500		0				
	⑤ その他特財	0		0		10,500		0				
決 算 情 報	① 流充用額	△ 2,038		0								
	② 配当予算	9,091		4,450								
	③ 執行額	7,344		4,220								
	④ 執行率	80.8%		94.8%								
人 概 工 算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.44	/	0.20	0.22	/	0.45	/				
	② 概算人件費	4,080		3,020								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		11,424		7,240								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	文化財資料移転事業(公適・除却)		種類	教育債		2,900		決算附属資料	56	頁
						実績金額						

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	移転未保管件数	件	/	0 / 0	0 / 0	/ 0	0
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	資料整理数	点	/	10000 / 10000	6000 / 6000	/ 5000	5000
		単位あたりコスト		0.7	0.7		
	移転件数	件	/	23 ² / 1	1 / 1	/ -	文化財資料移転事業
		単位あたりコスト		3672.0	4220.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・本市のこれまでの歩みを示す歴史資料を後世に残すため、上天津埋蔵文化財収蔵庫の資料を旧育英小学校へ移転し、整理分類を行った。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・移転に際しては、コストがかからないよう日程を絞り移転を行った。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・目標通り資料の移転を行うことができ未保管資料はなし。 ・資料整理、移転件数ともに目標値を達成している。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	本市の歩みを示す資料を無事移転することができ、また整理分類を行うことができたことは評価できる。課題として、貴重な資料を後世に伝え残すためには、保管施設の維持管理が重要になる。		
改 善 策	施設の維持管理については、定期的な点検を行うとともに、必要な個所には修繕を施していく必要がある。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	文化財保護啓発事業										事業コード	100501640139			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	02070000 地域振興部 文化・スポーツ振興課						所属長	井上郷太郎						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	228・229	頁
計画期間	開始年度	平成30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市文化振興基本方針					R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市文化財保護に関する条例														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市内の文化財を未来へとつないでいくため文化財の保護と啓発を推進する				
対象者	市民	対象者数	76,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	1,343		1,902		1,547		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		1,343		1,902		1,547		0						
予算財源内訳	① 一般財源	1,343		1,431		1,547		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		0		0		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		471		0		0						
決算情報	① 流充用額	230		0										
	② 配当予算	1,573		1,902										
	③ 執行額	1,433		1,485										
	④ 執行率	91.1%		78.1%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.98	/	0.20	0.29	/	0.10	/						
	② 概算人件費	8,400		2,600										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,833		4,085										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	文化財保護啓発事業基金繰入(ふるさと納税基金)		種類	基金繰入金		実績金額	471		決算附属資料	40		頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	文化財指定等件数	件	8	/	1	4	/	1		/	1
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	展示回数	回	8	/	3	8	/	3	7	/	5
	単位あたりコスト		133.1		179.1		212.1				
	単位あたりコスト		/		25		/		/		文化財保護啓発事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・文化財保護のため指定や普及啓発活動を行うことは、未来へと文化財をつないでいくことにつながり優先度は高い。 ・指定等に向け未指定文化財の調査を専門家とともに行った。 ・文化財の現地見学として市内の文化財巡りを行ったほか、日本の鬼の交流博物館開館30周年記念として30周年にかかわる資料の展示を行った。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・調査対象を絞り、まとめて行う効率的な調査の実施がコスト削減に直結している。 ・実施した指定文化財調査(皇大神社、豊受神社、旧福知山信用金庫本店)	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・文化財保護審議会を開催し指定に関する協議を行った。 ・展示については、資料整理の成果を示す展示を4回(うち1回は福知山公立大学とコラボ展示)、日本の鬼の交流博物館で3回行ったため、活動実績は見込み以上である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・指定文化財候補の調査研究結果に基づき、文化財保護審議会での審議を経て目標通り年1件以上の指定等を行っており適切に業務をおこなっている。 ・展示については計画を大幅に上回り、文化財保護の大切さを市民に認識してもらうことができた。 ・市内文化財の把握密度を高めるため悉皆調査を実施する必要がある。		
改 善 策	・これまで調査されてきた歴史資料の再確認を行い、新たな評価を付加するとともに、資料の説明会などを開催し、市民とともに地域の財産として共有し保存していく取り組みの実施。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	額田ダシまつり補助事業										事業コード	020110130321			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち							政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展					
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承									施策コード	431			
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所							所属長	中島 美香					
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料	85・86	頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	額田ダシまつり(額田のダシ振興会)補助金交付に関する要綱、額田ダシまつり(額田区自治会会長)補助金交付に関する要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府及び福知山市無形民族文化財に登録されている額田のダシまつり(江戸時代から続く独自の伝統文化)を後世に継承し、観光資源として広くPRする。				
対象者	観光客及び額田地域住民	対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	223		323		223		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		223		323		223		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		100		0		0			
	② 国支出金	0		0		0		0			
	③ 府支出金	0		0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	223		223		223		0			
決算情報	① 流充用額	△ 203		△ 100							
	② 配当予算	20		223							
	③ 執行額	0		223							
	④ 執行率	0.0%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.10	/	0.00	0.12	/	0.00	/			
	② 概算人件費	800		960							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		800		1,183							
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	額田ダシまつり補助事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)		種類	基金繰入金	実績金額	223	決算附属資料	35	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入り込み客数	人	0	/	10000	0	/	10000	7000	/	10000
			/		/		/		/		
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	下ダシ製作数	個	0	/	7	0	/	7	7	/	7
	単位あたりコスト		0.0				31.9				
	上ダシ製作数	個	0	/	2	270	/	2	2	/	2
	単位あたりコスト		0.0				111.5				

額田ダシまつり補助事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	京都府及び福知山市無形民俗文化財に登録されており、地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに対する支援が必要である。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	事業の大半は、地元負担で賄っており、数年にわたり補助金の減額を行い効率的である。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	京都府及び福知山市無形民俗文化財に登録されており、地域文化の継承だけでなく、特色ある観光資源としての価値も注目され有効である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	夜久野学園やこども園のダン制作等により、伝統文化の継承という目的は達成できている。地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、市としては伝統文化を継承するために額田のダンまつりを継続させる必要がある。		
改 善 策	「福知山観光地域づくりセンター」「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、インバウンド等も含めたPR戦略等を検討していく。コロナによる中止が続いたことによる担い手不足等による技術、まつりの継承が懸念される中、今後補助金の活用方法として事業継承につながるような取り組み(学校への出前講座や、ダン作り体験講座の開催など)が行えないかを地元団体等と協議していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	やくの木と漆の館事業							事業コード	020110230215					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承						施策コード	431					
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所					所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	88	頁
計画期間	開始年度	平成12年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-		R6現在の状況		継続中		
根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	夜久野は古来日本でも有数の漆の産地であり、人々の暮らしを支えてきた生業は漆掻きであった。そんな夜久野の歴史を残し、伝えていくことを目的に設置された「やくの木と漆の館」を、丹波漆の伝統継承と漆産業の振興を目的に設立された「NPO法人丹波漆」の活動と連携を図りながら管理運営し、地元の漆を使った夜久野ならではの製品を作ることで、丹波漆の良さを伝えていく。					
対象者	利用者		対象者数	1,500	単位あたりコスト	9.0
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	5,688		3,913		3,854		0				
	② 補正予算	0		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
小計(①～③)		5,688		3,913		3,854		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0				
	② 国支出金	1,813		1,956		1,927		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	1,800		0		0		0				
	⑤ その他特財	2,075		1,957		1,927		0				
決算情報	① 流充用額	△ 1,451		△ 189								
	② 配当予算	4,237		3,724								
	③ 執行額	3,822		3,724								
	④ 執行率	90.2%		100.0%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.55	/	2.75	0.21	/	2.90	/				
	② 概算人件費	12,100		9,800								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		15,922		13,524								
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	やくの木と漆の館事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	総務費国庫補助金		実績金額	1,498	決算附属資料	15	頁
			やくの木と漆の館入館料			総務使用料			450		6	
			やくの木と漆の館物品			物品売払収入			1,776		33	

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	入館者数	人	857	/ 1500	1365	/ 1500	1369	/ 1500	/	1500	1500
	蒔絵・金継ぎ教室参加者	人	109	/ 300	200	/ 300	228	/ 300	/	300	300
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	蒔絵・金継ぎ教室開催	日	28	/ 33	40	/ 33	44	/ 33	/	33	33
	単位あたりコスト		117.8		95.6		84.6				
	企画展等開催	回	2	/ 12	29 ³	/ 12	2	/ 12	/	やくの木と漆の館事業	
		単位あたりコスト	1649.5		1274.0		1862.0				

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	夜久野地域の伝統文化である丹波漆を福知山市のブランド品にしていいため、当該施設を管理運営し、地元の漆を使った夜久野ならではの製品を作ること、丹波漆の良さを伝えていく必要がある。	☐ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	NPO法人丹波漆が漆を植栽し育て、やくの木と漆の館が漆器の展示・制作・販売・体験等を行うことで役割分担ができ、官民が連携する形で漆の魅力を発信している。また、漆に精通した職員の配置は、漆器の製作、体験等の対応に適切であり、効率的である。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	「農匠の郷やくの」の施設の運営事業のひとつとして、観光振興に資する事業である。体験・教室の実施により、来館者は一定確保できており有効である。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	丹波漆の伝統として、また、漆塗りや絵付けなど様々な漆芸が行える体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の活性化を図った。また、文化庁が国宝や重要文化財の修復にかかる上漆を外国産漆から国産漆に切り替える方針を示す中、京都府も夜久野地域の漆の再生にむけて支援を強化しており、府・市・NPO法人丹波漆との連携が強化された。キャッシュレス決済の導入により売り上げも着実に伸びている。		
改 善 策	アフターコロナを見据えながら、道の駅「農匠の郷やくの」の特徴ある施設として他の施設との連携により、全体の集客増を図るとともに、「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等との連携、インバウンド対策、PR戦略等を強化する。そのためにも、現在、殆どが休館となっている「農匠の郷やくの」の全体活用の方向性を早期に確定させていく。文化庁が京都府に移転し、国との連携も視野に入れた漆振興策も検討する中、ECサイトを活用した漆製品のPR等、新たな販売戦略に取り組む。限られた館内スペースでの増員目標には無理があり、出張体験やショップの出店を通じた漆文化のPRに努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

(単位：千円)

| 事業属性

事業名	元伊勢八朔祭補助事業										事業コード	020110130332			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	3 学びを深められる地域資源の継承・発展						
	施策名	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承								施策コード	431				
事業担当	所属	02100000 地域振興部 大江支所						所属長	神内 明宏						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計		決算附属資料		頁
計画期間	開始年度	昭和60年度		終了予定年度	令和5年度		関連計画名	ー				R6現在の状況		廃止/休止	
根拠法令等	福知山市元伊勢八朔祭補助金交付要綱														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	明暦4年(1658年)から続く京都府伝統的行事である「元伊勢八朔祭礼」の保存継承に取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対して支援を行うことにより、福知山の伝統文化の発信や次代への継承及び地域の活性化を図る。また、伝統文化の発信により観光客の入込みを図る。				
対象者	観光客及び市民	対象者数	—	単位あたりコスト	
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☒ 補助金交付 ☐ その他 ()				
委託先・実施主体等	元伊勢八朔祭礼練込保存会				
事業概要 (簡潔書き)	「元伊勢八朔祭礼練込保存会」に対する補助金だが、令和2年度から令和4年度は元伊勢八朔祭礼は中止となっている。 元伊勢八朔祭礼の練り込みについては、児童、生徒の激減により笛太鼓や奴行列の編成が困難になったことを踏まえ、令和5年度以降は実施見込みはない旨の文書を令和5年3月31日付で京都府知事宛に送付され、実施されていない。				
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容		

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)		
予 算 情 報	① 当初予算	60		60		0		0		
	② 補正予算	0		0		0		0		
	③ 繰越予算	0		0		0		0		
	前年度繰越	0		0		0				
	次年度繰越	0		0						
	小計(①～③)	60		60		0		0		
予 算 財 源 内 訳	① 一般財源	60		60		0		0		
	② 国支出金	0		0		0		0		
	③ 府支出金	0		0		0		0		
	④ 地方債	0		0		0		0		
	⑤ その他特財	0		0		0		0		
	決 算 情 報	① 流充用額	0		△ 60					
② 配当予算		60		0						
③ 執行額		0		0						
④ 執行率		0.0%								
人 概 工 算		① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託 職員	0.03 / 0.00		0.01 / 0.00		/		/	
	② 概算人件費	240		80						
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	240		80						
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	入込客数	人	— / 1500	— / 1500	— / 1500	— / —	1500
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	奴行列・鳥毛廻し実施回数	回	— / 1	— / 1	— / 1	— / —	1
		単位あたりコスト	0.0	0.0	0.0		
	鳥毛廻し参加地区数		— / 3	— / 3	— / 3	— / —	3
		単位あたりコスト	0.0	0.0	0.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・コロナ禍の影響を受け、感染症拡大防止の観点から元伊勢八朔祭礼練込みは中止となったが、伝統の継承及びイベントによる地域活性化の取組みは地域組織により継続して行われており、伝統的行催事保存の目的は、達成されている。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・元伊勢八朔祭礼の練り込みについては、児童、生徒の激減により笛太鼓や奴行列の編成が困難になったことを踏まえ、令和5年度以降は実施見込みはない旨の文書を令和5年3月31日付で京都府知事宛に送付しており、補助金の執行は無い。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・成果の入込客数については、未実施により目標数値との乖離はあるが、目的である地域文化の継承においては、団体の活動により次代に引き継がれている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	・地域文化を継承・創造する個性ある地域づくりに向けて、「元伊勢八朔祭礼練込み」の保全継承などに取り組む「元伊勢八朔祭礼練込保存会」の活動は、コロナ禍の影響を受け未実施であったが、令和5年3月に児童、生徒の激減により笛太鼓や奴行列の編成が困難となったことを踏まえ、令和5年度以降は実施の見込みはない旨の文書を京都府知事宛に提出され、元伊勢八朔祭礼練込みは休止状態となっている。		
改 善 策			

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合	(統合事業名:)	☐ 他事業へ統合	(統合先事業名:)